



国民春闘共闘

第2号

2015年11月10日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2015年度年末一時金・第1回集計

単純 2.03 ヲ月・68 万円 加重 61 万円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は6日、2015年の年末一時金第1回集計を行い14単産部会から報告が寄せられました。

<回答状況>

	2015年	2014年(参考)	2013年同期
登録組合数	745	761	779
回答組合数	184 (24.7%)	327 (43.0%)	177 (22.7%)
うち上積み獲得	10 (5.4%)	54 (16.5%)	4 (2.3%)
うち妥結組合数	36 (19.6%)	89 (27.2%)	46 (26%)

<回答内容> (月数および金額)

集計方法&対象		2015年	2014年(参考)	(前年比)
単純平均	月数	2.03	2.14	-0.11
	額(円)	677,027	687,716	-10,689
加重平均	額(円)	609,174	679,622	-70,448
	組合員数(人)	55,992	98,016	

*額または月数のみの報告があるため、双方は連動しません。

*2014年数値は参考値(2014年11月19日集計分)

<前年実績と比較可能な組合における回答状況(金額での比較)>

	2015年	2014年(参考)	2013年(同期)
前年との比較が可能な組合数	114	201	90
うち前年額以上の組合	59 (51.8%)	116 (57.7%)	44 (48.9%)
(前年超)	55	104	39
(同 額)	4	12	5

<前年実績と比較可能な組合における単純平均額・月数の比較>

		組合数	金額・月数	前年実績	(前年比)
単純平均	額(円)	114	674,567	682,253	-7,686
	月数	162	2.04	2.04	±0

〈集計結果の概要〉

回答引出し・妥結状況

2015年度の年末一時金の第1回集計には、14単産・部会から報告が寄せられ、登録745組合のうち184組合が回答を引き出しています。回答引き出し率は24.7%となっています。なお、回答を引き出した184組合のうち約20%が春闘期や夏季闘争期に年間分として回答を得ています。

回答引き出し組合のうち数次にわたる上積み回答を引き出したのは10組合・5.4%となっています。最高次数はJMIU、化学一般労連の組合での5次回答となっており、いずれも、春闘期・夏季闘争期でのものです。この秋の交渉でも3組合がすでに2次回答を引き出しています。

現時点で妥結した組合は36組合で、妥結率は19.6%となっています。

全体の回答内容

月数回答のあった166組合での単純平均月数（一組合あたりの平均）は2.03ヵ月で、前年参考値（2014年11月19日時点）2.14ヵ月と比べマイナス0.11ヵ月となっています。前年実績比ではマイナス0.01ヵ月と、前年実績並みとなっています。

金額回答のあった119組合での単純平均額は677,027円で、前年参考値（687,716円）を10,689円下回っています。加重平均額（組合員一人あたりの平均）は609,174円で前年参考値比70,448円減となっています。

そうした中でも、出版労連（10組合）地方マスコミ、全印総連、JMIU（各1組合）の計13組合が100万円以上の高額回答を引き出し、そのうち6組合は150万円以上の回答を引き出しています。

規模別に見ると、「29人以下」、「30～99人」、「100～299人」の小中規模組合が、単純平均月数で2ヵ月以上となるなど奮闘しています。

前年実績比較可能な組合での回答状況

同一組合での対比が可能な114組合での単純平均額の結果を前年実績と比べると今期は674,567円で、前年実績を7,686円下回っています、引上げ率は-1.13%となっています。しかしながら114組合のうち59組合（51.8%）が前年実績額以上の回答を引き出しており、このうち55組合は前年実績額を越す回答を勝ち取っています。

月数で同一組合対比可能な162組合の単純平均月数は2.04ヵ月で、前年実績同月数となっています。このうち前年実績超が56組合、同月数56組合、前年実績未滿50組合となっています。

これらの組合を単産・部会別に見ると、化学一般労連、生協労連、全印総連、地方登録組合、地方マスコミが前年実績からプラスとなっています。

回答指定日を今週に構えている組合も多くあり、回答が出揃っていない状況ですが、厳しい出だしとなっている状況が伺えます。こうした低額回答に対して、JMIUや出版労連などからはストライキに決起したたかっている報告が寄せられています。統一闘争を軸に職場・地域から力を寄せあい、大幅な引き上げを求めて奮闘していきましょう。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の一時金

非正規雇用で働く仲間の一時金獲得は、別表の4単産77組合から137件の成果を獲得の報告が寄せられています。

このうちパートやアルバイトなどを中心とした時給制で働く仲間の一時金獲得は、生協労連（46件）、日本に労連（36件）を中心に、4単産で86件となっています。月数報告のあった70件の単純平均は0.803ヵ月で、金額報告のあった25件の単純平均額は64,036円となっています。前年実績と比較可能な組合の単純平均月数を見ると55件の平均で0.846ヵ月と前年実績（0.891ヵ月）とほぼ同水準となっています。金額では19件平均で63,259円と前年実績比2,911円増となっています。

月給制（準職員・契約社員など）で働く仲間の一時金獲得は2単産・39件となっています。月数報告のあった38件の単純平均は0.994ヵ月で、金額では10件平均で221,919円となっています。

また、生協労連、JMIU、全印総連からは再雇用・継続雇用で働く仲間の一時金獲得の報告が寄せられています。時給制では生協労連から6件の獲得報告が寄せられ、水準は0.543ヵ月（5件平均）、82,655円（3件平均）となっています。

<参考> 他団体の年末一時金集計結果

- 日本経団連の年末一時金妥結集計（大手企業＝10/30現在）は以下のとおりです。

集計対象	集計企業	加重平均		単純平均	
		金額	昨年実績	金額	昨年実績
大手企業	80社	916,160	883,022	785,662	754,328

※集計対象は東証一部上場、従業員500人以上の企業